

# 魚津市公共施設等総合管理計画

## 個別施設計画

I 公共施設

C 児童福祉施設

1 保育園

令和7年11月改訂

魚津市

(所管部署：こども課)

# 目 次

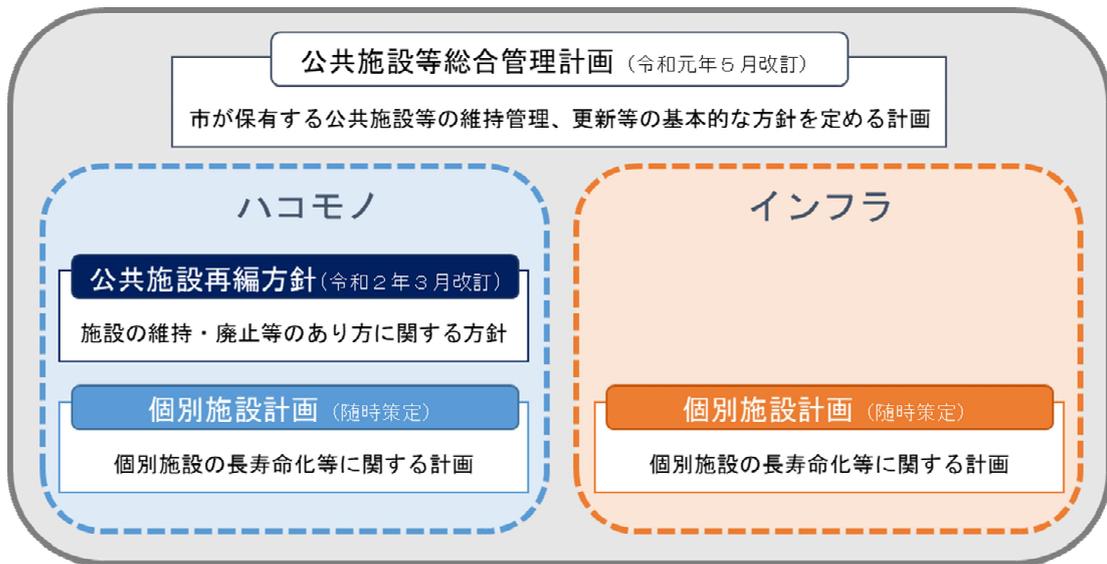
1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	
1. 1	策定の趣旨	P 1
1. 2	対象施設	P 1
1. 3	計画期間	P 1
1. 4	進行管理	P 1
2	施設の状況	
2. 1	老朽化の状況及び改修状況	P 2
2. 2	位置図	P 3
2. 3	施設の利用状況及び収支の状況	P 4
3	個別施設の方針	
3. 1	施設の役割	P 5
3. 2	現状と課題	P 5
3. 3	今後の考え方	P 5
3. 4	対策内容と実施時期	P 7
3. 5	対策費用	P 7

## 1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

### 1. 1 策定の趣旨

本計画は、魚津市公共施設等総合管理計画（令和6年5月改訂版。以下、「管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとの具体的な方針や長寿命化計画などを示すものです。

#### 魚津市における公共施設等総合管理の概念図



### 1. 2 対象施設

対象施設は、管理計画における「保育園」の施設類型の全施設とします。

### 1. 3 計画期間

計画期間は、20年間とします。

### 1. 4 進行管理

本計画に基づく進捗確認を毎年度行い、達成状況や財政状況などを踏まえて対策内容と実施時期を見直すことにより、計画的な改修等に努めます。

## 2 施設の状況

### 2.1 老朽化の状況及び改修状況

No	施設名称	建設年度	経過年数	構造 / 階層	延床面積 (m <sup>2</sup> )	敷地面積 (うち借地) (m <sup>2</sup> )	資産老朽化比率	劣化状況	改修状況			
									耐震化改修	長寿命化改修		
										屋根	外壁	他
1	道下保育園	S56	42	RC/2	896.86	1,168	87.8%	・玄関の階段部分のタイル剥離	不要			R4受水槽更新
2	青島保育園	S56	42	RC/2	1066.20	1,891	89.9%		不要			R4受水槽更新
3	経田保育園	H3	32	RC/1	709.80	2,763	68.9%		対象外			
4	片貝保育園	H12	23	RC/1	331.25	849	97.1%		対象外			
5	松倉保育園	H16	19	W/1	454.59	1,618	90.1%	・ウッドデッキに反りあり	対象外			
	合計				3458.70	9,939						

※ 経過年数・資産老朽化比率等は、令和5年度末時点

2. 2 位置図

---



## 2. 3 施設の利用状況及び収支の状況

No	施設名称	利用状況（人）			収支（千円）											
		R3	R4	R5	R3				R4				R5			
					収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費
1	道下保育園	862	790	826	9,869	120,433	▲ 110,564	3,610	10,181	129,360	▲ 119,179	3,610	5,368	133,528	▲ 128,160	3,392
2	青島保育園	1,111	1,109	1,105	10,288	122,937	▲ 112,649	3,823	12,651	132,044	▲ 119,393	3,823	6,329	154,092	▲ 147,763	3,737
3	経田保育園	650	643	547	6,290	100,643	▲ 94,353	3,519	7,567	98,758	▲ 91,191	3,519	2,979	106,251	▲ 103,272	3,462
4	片貝保育園	210	151	129	2,225	44,252	▲ 42,027	5,817	2,111	41,444	▲ 39,333	6,106	908	44,093	▲ 43,185	494
5	松倉保育園	238	118	0	2,420	51,859	▲ 49,439	3,926	1,828	45,731	▲ 43,903	3,926	0	862	▲ 862	3,926
	合計	3,071	2,811	2,607	31,092	440,124	▲ 409,032	20,695	34,338	447,337	▲ 412,999	20,984	15,584	438,826	▲ 423,242	15,011

令和5年度時点での公立保育園で一番園児数が多いのが青島保育園となっているが、今後、出生数減少に伴う少子化の進行が考えられることから、いずれの園でも在園児数が大きく減少することが予想されます。

### 3 個別施設の方針

#### 3.1 施設の役割

保護者の就労や病気等により家庭で子どもをみることが出来ない場合に保護者の代わりに保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設です。

#### 3.2 現状と課題

(現状)

公立保育園は一部を除き建物の老朽化が進んでいます。また、公立保育園は、私立認定こども園と比較すると充足率が低く、定員割れの状態が続いており、公立保育園の一部においては、子どもが心身ともに健やかに育つ保育環境の「適正」な人数に「満たない」状態にあります。園児数減少のため、令和4年度末に野方保育園、令和6年9月に松倉保育園、令和6年度末に片貝保育園を閉園しました。

(課題)

公立保育園は昭和40年代から50年代に建築された園舎があり、老朽化が進んでいますが、乳幼児は避難行動要支援者であり、園舎の老朽化は大きな課題です。園舎の老朽化を勘案しながら園の適正配置を進めるとともに、当面運営継続していく園については、長寿命化対策を進めていく必要があります。

#### 3.3 今後の考え方

##### ①施設の方針（魚津市公共施設再編方針（令和6年改訂版）抜粋）

<b>&lt;再編方針&gt;</b>	目標年度：中期（R15）
○園児数の推移を注視しながら、統廃合による規模適正化を図る。併せて施設の複合化や改築を視野に入れながら、公立保育園を一定程度維持する。	

## ②対策の優先順位の考え方

基本的には、建築年度又は長寿命化改修実施年度からの経過年数が大きい施設から優先的に対策を実施するものとしますが、点検結果や施設の利用状況等の要因により実施時期が前後する場合があります。

また、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

## ③保有総量の抑制について

社会情勢の変化をふまえ、サービス水準を出来る限り維持しながら公共施設の総量を抑制するため、施設の維持更新にあたり、機能集約や複合化を検討します。

## ④施設の長寿命化について

施設の長寿命化を図るため、事後保全的な維持管理から予防保全的な維持管理に転換します。

施設の目標使用年数を60年以上とし、施設の長寿命化改修は建築年度から20年及び40年を経過する年度から5年以内を目途に実施するものとします。

## ⑤社会的なニーズへの対応について

施設の長寿命化改修に併せ、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化、脱炭素化等に係る改修を実施するものとします。

ただし、経費の平準化や社会的要請の高まり等の要因により個別に対応を実施する場合があります。

3. 4 対策内容と実施時期

(百万円)

No	施設名称	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25
1	道下保育園	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る（R3で40年経過）																		
2	青島保育園	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る（R3で40年経過）																		
3	経田保育園	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る（R13で40年経過）																		
4	片貝保育園	廃止																		
5	松倉保育園	廃止																		
	野方保育園（R4年度末廃止）	51.6	（除却）																	

※ 本計画は、適切な長寿命化改修を実施することにより、減価償却資産の耐用年数を超えて施設を利用することを目指すものですが、老朽化度調査等の結果を基に、長寿命化改修の実施有無や利用期間などが変更となる可能性があります。

※ 本計画における長寿命化改修や建替え等については、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

### **3. 5 対策費用**

---

計画期間における概算費用は、「保育園」の施設類型全体で約3億2千万円です。

ただし、現在の市の財政状況では全ての対策を実施することは困難なため、市の公共施設全体で統廃合や複合化を更に推進し、総量縮減を図る必要があります。